

新型コロナウイルス感染症対策専門者会議こども教育部会会議概要

日時 令和2年4月9日 午後6時30分～8時

場所 本庁舎3階大会議室

1 協議事項 課題と対応策

(1) 課題と現状

ア 小中学校

新年度に入って学習できていないため、課題が新年度に入れない。授業時数の確保。夏季休業減で対応できるか。

イ P T A

事業所に保護者の休業理解を。P T Aのホームページで情報発信できることがあれば要請を。保護者が落ち着ける環境づくりが早急に必要。

ウ 児童館・児童センター

小中学校の休業中は8時から19時までの預かりを実施している。職員体制、職員の疲労。マスク、消毒液不足。行政が買い上げて配布してもらえないか。8時から12時30分までは学校で預かってもらえないか。教職員の活用。また、19時まででなく18時までにはできないか。高学年の子どもは自宅できども部からも通知を。

エ 保育園

ほとんどの子どもが登園。保護者は不安があるが新年度子どもが早くなじむよう連れてくる。3密を避けて集団での遊びは自粛。職員も感染源にならないよう室内の消毒や体調管理を徹底している。

オ 認定こども園

子どもの成長には相手の表情を読み取ることが大切なため、マスク着用等現場では苦慮することが多い。上田市の自主休園を見習い、ステージを上げたアナウンスを。それにより保護者が自粛。

カ 保育園保護者会

働く保護者にとって休むことは職場への負担がある。児童センターが開かなければ困る人が多い。小学生の子もいるので授業の遅れが心配。

キ 障害児支援

事業者も不安があるなかでやっている。先の見通しのない中で保護者・子どもはどれだけ頑張れるか。どう支援したらよいか。

(2) 課題まとめ

ア 保育園・幼稚園保護者・児童センター利用者へのレベルを上げたアナウンスのやり方と発信先

イ 学校と児童センター等との連携協力の検討 施設・教員の活用

ウ 学習保障の仕組み、準備

エ 衛生用品などの調達

(3) 今後の方針

5月7日以降開校できた場合と休業が継続した場合の対応策を持ち帰ってそれぞれ検討する。その結果を次回持ち寄り情報共有する。

次回は4月17日(金)18時から。